

流石 やすし

あなたの声を 県政に届ける

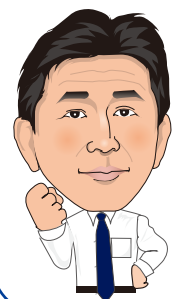
県政報告 Vol.1

令和元年 8月吉日発行



プロフィール

県立吉田高校卒業
法政大学卒業
元富士河口湖町議会議員



より豊かな道志・富士北麓地域を目指して、知事とともに歩みます。

令和元年の夏は富士北麓地方には富士山と富士五湖の冷涼な気候を求め、国内外から大勢の観光客が訪れ大いに賑わいをみせました。
皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、皆様に与えていただきました県議会議員として五月七日に初登庁して以降その重責に身の引き締まる思いで議員の職務を遂行してまいりました。それでは、七月までの県議会の内容をご報告いたします。

五月十四日の臨時会では議席指定の後で正副議長の選挙を行った結果、議長には大柴邦彦氏、副議長には遠藤浩氏が当選しました。また、山田二功氏、桜本広樹氏が監査委員に選任同意されました。

2. 次世代「やまなし」投資戦略

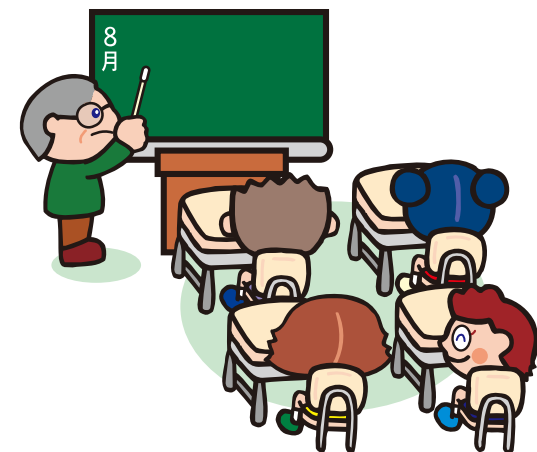
子ども一人ひとりに向き合った、きめ細かで質の高い教育が受けられる環境を実現させ、地域の産業と連携などによる産業人材の育成を進め、本県の次世代を担う人材の育成・確保を図るとともに、スポーツ・文化の振興を進める。

・少人数教育推進検討委員会開催費 (327千円)

質が高くきめ細かな教育を実現するため、公立小中学校への25人学級の導入について検討する。

・県立学校冷房設備設置費(41,415千円)

生徒に快適な学習環境を提供するため、県立学校へ冷房設備を設置する。



・県立学校トイレ洋式化事業費 (57,943千円)

児童生徒に快適な学習環境を提供するため、県立学校のトイレを洋式化する。

・やまなしで働く 魅力情報発信 事業費 (3,323千円)

若年世代の県内就職を促進するため、学生や保護者に対して、本県で働くメリットや魅力について情報発信する。

・やまなしU・Iターン 就職支援センター事業費 (8,970千円)

若年世代の定住の確保を図るため、移住及びU・Iターン就職等に関する情報を提供する窓口を設置する。

・愛宕山こどもの国 再整備事業費 (12,677千円)

愛宕山こどもの国を自然保育の拠点とするため、再整備を行う。



以上、5月から7月までの県議会の内容を報告いたしました。これからも、初心を忘れず、感謝の心をもって南都留郡の皆様のために「誰もが住みよい地域をめざして」活動をしたいといたします。引き続きご指導、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

【採択された請願】
○教職員定数改善、少人数学級推進及び義務教育費国庫負担制度拡充を図ることに ついて

【可決された意見書】
○教職員定数改善、少人数学級推進及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書
○空き家対策の充実を求める意見書

1. 攻めの「やまなし」成長戦略

機械電子産業の集積や果樹を中心とした農産物、豊かな森林、富士山をはじめとした観光資源、リニア中央新幹線の開業など、本県の強みを生かして、**県外や海外の需要を積極的に取り込み**、時代に対応した**産業の振興**を推進する。



これらの予算を地元
還元するために、皆さまから
のご要望・アイデアを
お待ちしております！

・リニアやまなしビジョン（仮称） 策定事業費 (55,357千円)

民間企業や研究機関等の誘致に向けた基本的な指針となる「リニアやまなしビジョン（仮称）」を策定する。

・農産物販路拡大支援事業費 (20,934千円)

輸出解禁が期待される中国、ベトナムにおいてマーケティング調査や国際展示会への出展等を行うとともに、アラブ首長国連邦へのテスト輸出等を行う。



・未来を拓くやまなし農業応援 事業費補助金 (40,000千円)

ICT、ビックデータ等を活用した効率的な農業の実現や魅力ある農山村の創出に向けて、施設整備等に対し助成する。

・富士山登山鉄道 検討費 (41,759千円)

富士山登山鉄道の課題等を検討し、基本構想を策定する。

・医療・介護資源を活用 したツーリズム検討 事業費 (2,278千円)

県外需要の受入可能性について検討する。

・森林環境譲与税基金 事業費 (30,615千円)

市町村が行う森林整備等への支援と森林整備を担うべき人材の育成・確保、森林の有する公益的機能の普及啓発、木材利用の促進等に関する施策を実施する。

・やまなしイノベーション創出 事業費補助金 (40,000千円)

中小企業が行う成長分野への進出に向けた研究開発及び小規模事業者が行う経営革新や事業承継に向けた取り組みに対し助成する。

・「メディカル・デバイス・コリドー」計画 策定費 (14,425千円)

機械電子産業の医療機器分野への進出を支援するとともに、医療機器産業の集積に向けた計画を策定する。

・地域連携DMO事業費 (16,500千円)

ビックデータを活用した外国人観光客のアクセス経路や県内での滞在状況等の詳細分析を行うとともに、海外の個人旅行者向けサイト事業者と連携したプロモーション活動を実施する。

・伝統的観光地再活性化 支援事業費 (1,004千円)

市町村が行う伝統的な観光地の再活性化に向けた取り組みを助成する。

令和元年6月定例会は6月12日から6月28日までの17日間開催されました。開会日に長崎幸太郎知事が次のとおり所信表明を行いました。

【所信表明要旨】

◎新たな県政づくりのスタートダッシュとして、本格的な政策予算となる6月補正予算案を提出した。今回の補正予算によって全ての公約に取り組みための準備が整う。可能な限り速やかに着手し、一日も早い公約の実現に向け鋭意取り組む。富士山登山鉄道、医療・介護立県、リニアやまなしビジョンの策定、少人数教育の推進、外国人材の活用な

ど重要公約は検討に要する経費を中心に計上した。県民生活向上の観点から速やかに実施する事業もある。県の抱える喫緊の各種課題に対し速やかに事業を展開する。国の資金を最大限活用することで県負担を抑制し、財政の持続可能性の確保にも努めた。「県民一人ひとりが豊かさを実感できる山梨」に向けて大きな一歩を踏み出す。

知事の説明を受けて、6月17日から20日までの4日間に代表質問を3議員、一般質問を9議員が行い有意義な質疑応答がなされました。

常任委員会構成が決まり、私は「農業産業観光委員会」の副委員長に選任されました。

この委員会は、農業、水産業、商工業、観光業、電気事業などに関することを取り扱う委員会です。

6月21日、24日に教育厚生委員会、農政産業観光

委員会、6月24日、25日に総務、土木森林環境委員会を開催し、6付託議案や所管事項の審査を行いました。定例会最終日の6月28日には、議員提案した空き家対策の充実を求める意見書や、総額401億8千221万円の一般会計補正予算など30案件を可決、承認、同意しました。

6月補正予算の概要

- 「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」の実現に向け**400億円を超える規模の超積極型補正予算**
- 国の資金の積極的な活用により県負担の抑制を図り、**大胆な予算規模の確保と持続可能な財政運営の両立**を図る予算

ポイント①

全ての公約項目に着手

◇知事公約の実現に資する事業について、積極的に予算化

◇6月補正予算に加え、当初予算を含めると、**全ての公約項目に着手**

ポイント②

十分な予算規模・
事業数を確保

◇予算規模：**401.8億円**

・補正予算額としては県政史上**3番目の規模**

・公共・県単公共事業、一般行政事業の両面で充実した規模を計上

・H30.6原計予算比 +110億円 (+2.4%)

◇事業数：**183事業**（うち新規事業128事業）

・直近の肉付補正（H27.6月補正）と比較し、+46事業

ポイント③

国の資金の積極活用と
県負担の抑制

◇**国庫支出金**：H30.6月現計予算比 +78億円 (+15.0%)

・国の公共事業予算の大幅な内示増 (+164.6億円) など ※事業費ベース

・臨財債を除く通常の県債発行：H30.6月現計予算比+82億円

増要因：①**有利な交付税措置**のある県債（時限的措置）発行 **+68億円**

②一時的に整備が集中する教育施設に係る県債発行 **+28億円**

⇒これら臨時的増要因を除いた、通常の県債について**発行を抑制▲14億円**

◇一般行政事業に占める所要一般財源（※）：19.6億円 (28.0%)

・近年の肉付補正予算と比較し、**予算規模に比して大幅に県負担を抑制**

(※) 所要一般財源：歳出から国庫支出金等の特定財源を差し引いたもの。歳出に占める所要一般財源の割合が低いほど、県負担金を抑制して多くの事業費が確保できることを示している。